

<p>③ 「小中学生人権作文集」や「酒々井町の人権・同和教育」を編集・刊行し、教職員、児童生徒、保護者の意識高揚に努めます。</p> <p>④ ネットパトロールを実施し、インターネット掲示板等への誹謗中傷、書き込みを監視します。スマートフォンのラインによる誹謗中傷等を防止するために、ルールやマナーの指導や啓発に取り組みます。</p> <p>(4) 保小中連携推進事業の充実</p> <p>① 「研究・研修部」「生徒指導部」を中心に児童生徒に係る課題を協議し改善に努めます。</p> <p>② 「教科分科会」を中心にして、小・中学校間の学習の継続性を推進します。</p> <p>③ 「小中連携指導5項目」を保護者・地域にも周知し、基本的生活習慣の定着を図ります。</p> <p>(5) 特別支援教育の充実</p> <p>① 就学支援委員会を年3回開催し、将来の社会的自立を見据えた就学支援を進めます。</p> <p>② 小学校に介助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行います。</p> <p>③ 特別支援連携協議会を開催し、新就学児童に係る情報を共有し、教育的ニーズの把握に努めます。</p> <p>(6) 読書指導・図書館教育の充実</p> <p>① 町内3校の学校図書館の蔵書率90%に向けて取り組みます。</p> <p>② 町内3校に学校図書館アシスタントを配置し、図書館機能の充実と児童生徒の学習支援、公立図書館との連携を推進します。</p> <p>(7) 健康・安全教育の充実</p> <p>① スクールアドバイザーを中心に、防犯ボランティア等関係機関と連携しながら、通学路の点検や安全マップ、防災マニュアルについての指導・助言を行います。</p> <p>② 栄養教諭による食育授業や教室訪問などを行い、食育教育の充実に努めます。</p>	<p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>各学校の実情に合わせて、担当者が校内で研修の中心になって推進しています。</p> <p>生徒に対する指導の充実を今後も工夫していきます。</p> <p>各部会が日頃から連絡を取りながら推進しています。</p> <p>指導の連続性を考えて小中学校で授業研修をしています。小中学校が連携して「あいさつ運動」等を行っています。今後、さらに特別支援教育の研修を推進していきます。</p> <p>予定通り3回実施して児童支援に役立ちました。個に即した支援を今後もさらに取り組みます。</p> <p>きめ細かな指導を進めています。</p> <p>2回ほど開催し、新就学児童を迎える準備を行いました。</p> <p>廃棄本の処理を進めており、90パーセントに達していませんが、学校図書館アシスタントの人的配置は十分機能しています。</p> <p>通学路の防犯安全については、町をあげて取り組みました。</p> <p>栄養教諭が各学校を巡回して指導を行い、食育についてきめ細かく啓発を行いました。</p>
---	---	---

<p>2 社会の変化に対応した学校教育の推進</p> <p>(1) 情報化・国際化に対応した学校教育の推進</p> <p>① 電子黒板やコンピュータなどのICT活用を推進し、教育的効果を高める工夫を講じます。</p> <p>② ALTを活用し、外国語学習・国際理解教育の推進に努めます。</p> <p>③ 中学校の生徒を海外に派遣し、ホームステイや体験活動を通して、国際化に対応できる人材育成を図ります。</p> <p>(2) キャリア教育の推進</p> <p>① 「キャリア教育推進協議会」を設置し、職場体験学習など学校教育への組織的な支援を行います。</p> <p>3 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 小中学校の校内研修に指導主事を派遣し、教職員の指導力の向上を図ります。</p> <p>4 教育条件の整備</p> <p>(1) 「豊かな心を育むCTSプラン」や「教職員の特色ある教育支援事業」を通して、各学校の特色ある教育を支援します。</p> <p>(2) 町ふれあいタクシーを利用したスクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。</p> <p>(3) 特別支援学級在籍対象の「特別支援教育就学奨励費」や準要保護家庭対象の「就学援助費」を支給し、保護者の経済的負担軽減を図ります。</p> <p>5 家庭との連携</p> <p>(1) 「家庭学習の手引き」を各家庭に配付し家庭教育の充実を図ります。</p>	<p>3</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>今後、さらなるICT活用を検討していきます。</p> <p>ALTの活用をさらに図り、英語教育に力を入れます。</p> <p>英語教育とならんで国際理解教育の実績を上げることが今後の課題です。</p> <p>キャリア教育の実践集積が充実しており、今後も推進します。</p> <p>研修会を中心に指導主事を派遣したが、日頃の授業にも指導を行います。</p> <p>CTSプランによって、学校独自の教育活動を推進できています。</p> <p>今後、児童増増加によるバス手配の課題が残っています。</p> <p>就学支援関係は、充実しています。給食費第3子無料化などの取組も始めています。</p> <p>小学校向けには「家庭学習の手引き」を配付し、中学校には、「学びの羅針盤」を配付しています。</p>
---	--	---

<p>6 チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県の平成29年度学校教育指導の指針を踏まえ、学校教育課の施策に反映させることによって、学力の向上につなげます。</p> <p>(2) 不祥事根絶に向けて、小中教委連絡会で具体的な事例を基に指導し、さらに教職員に周知徹底することによって意識を継続させます。高い倫理観を身に付けるために、若手教職員の研修に重点を置きながら不祥事の防止に努めます。</p> <p>(3) 保小中の連携を図り、英語活動及び英語科の推進に努めます。 中学生の積極的な英語検定に町教育委員会でも支援します。</p> <p>(4) 千葉県の人事評価制度の実施に際し、適切な運用がなされるよう各校に指導します。</p> <p>(5) 教員免許更新について、受講漏れや申請不備がないよう各校に指導します。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>学校には、研修会や研究会を通して、さらに学力を伸ばすように指導します。</p> <p>今後も不祥事防止研修会を各校で開催し、職員が互いに啓発しながらコンプライアンスの遵守に努めます。</p> <p>保小中連携の中でも、とくに英語教育の系統性を今度見通していきます。</p> <p>さらに、運用について研修を進めるよう学校に指導します。</p> <p>管理職から更新の状況報告を受けて、漏れ落ちのないようにしています。</p>
---	--	---